

「ロータリー100年の森林」第2回植樹祭

ロータリー100年の森林担当

松田 洪毅

ロータリー100周年の記念事業として、2640地区61クラブが協力して取り組んで来ました「ロータリー100年の森林もり」第2回目の植樹祭が現地、高野山で行なわれました。

平成17年4月24日(日)、現地高野山は、山桜、八重桜が満開で絶好の行楽日和に恵まれ、(今年の第1回植樹祭の時は雨の中でした)27クラブ、約100人のロータリアンとその家族の方々とこの「ロータリー100年の森林もり」の協働事業者であります和歌山県緑化推進会の皆様、総勢150名の参加のもと行なわれました。2640地区より中島ガバナーが「100年の森林もりは、ロータリーの今までの過去の奉仕活動の集結です。貴重なモニュメントで環境保全の大切さを子供や孫の代まで伝えついで行こう」と開会の挨拶をされました。

3.1ヘクタールの山に2,100本の樹木、山桜、イロハカエデ、芝栗、ケヤキ、コナラの5種類の広葉樹が植樹されています。これから5年、また10年と年月を重ねるほどに山が成長していく楽しみが出来ました。春には山桜を、初夏にはケヤキの新緑を、また秋には栗拾いやカエデの紅葉と、一年を通して山に足を運んで頂き、楽しんでいただき、またこの山を守って頂きたいと考えております。この2年間、本当に大勢のロータリアンの皆様、そのご家族、また緑化推進会の皆様にご協力いただきましたこと感謝を申し上げます。又、更に続いてこの「ロータリー100年の森林」を今後も発展充実させて頂くことを切望してご報告とさせていただきます。